

■海兵隊

元来の海兵隊の定義は、海上(船上)勤務にて陸戦兵器を扱う専門部隊とされる。16世紀のヨーロッパ海戦では、互いの船に接舷し敵船に乗り込んでの白兵戦や目的地での上陸戦闘を目的として、陸軍による艦船に配置する専属部隊あるいは海軍が歩兵部隊を組織するようになったのが起源である。後に欧米が海外に多くの植民地を持つに至り、原住民の暴動鎮圧が主たる任務となった。19世紀後半より艦船に砲が装備され接舷戦闘がなくなると、フランスの海兵隊は植民地警備隊として海外に固定配置されるようになり、アメリカ海兵隊は相手船に乗り込む必要のある海賊取り締まりを目的とした。

動力船の出現で船舶を自在に動かすように出来ると敵前への強襲上陸が可能となり、第1次大戦で実施されるが成功しなかった。この戦訓により1920年代に水陸両用作戦の概念が生まれ、第二次大戦でアメリカ海兵隊がこの作戦を担った。

現在のアメリカ海兵隊は「陸海空軍の全機能を備え、アメリカ軍が参加する主な戦いにおいて最初に、上陸・空挺作戦などの任務で前線に投入され、その自己完結性と高い機動性から脚光を浴びている緊急展開部隊」と定義されている。その起源は独立戦争中の1775年11月10日に大陸会議(当時イギリスの植民地であった13州の代表による会議)によって設立された大陸海兵隊が起源である。この組織は独立戦争後にはいったん解散となるが、1798年7月1日にアメリカ海兵隊(United States Marine Corps)として再建された。

アメリカ海兵隊の海外派遣は地中海の航行権をめぐる争いとなった1801年の第1次バーバリ戦争が初となる。第一次世界大戦では欧州派遣軍の一部としてフランスのペローウッドの戦闘で大きな働きを見た。しかし大戦後の戦間期においては、陸軍と同様に規模を縮小されその存在意義すら疑問視されるようになる。議会からも海兵隊の維持経費は無駄であると指摘されこともあったが、1933年12月の艦隊海兵隊の設立によって変わるようになる。これにより海兵隊の教義は遠征任務よりも水陸両用作戦に重点を置くようになった。

第二次世界大戦の勃発により米国は国防力の増大を図り、陸海軍をはじめ海兵隊も例外ではなかった。ヨーロッパが主戦

場と考える陸軍に対し、太平洋での戦闘は海兵隊が主力になることが求められた。このため師団と海兵隊航空団を拡充し、水陸両用作戦に有効な装備の開発などが進められた。

太平洋戦争においては、1942年8月のガダルカナル島への上陸が日本軍との初の本格的な戦闘となったが、半年にわたる戦いに勝利し海兵隊の存在を誇示した。この後タラワ、ペリリュー、硫黄島、沖縄と終戦に至るまで、日本軍との死闘を繰り返すことになる。

戦後には朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争など米国が関係する国外紛争には真っ先に投入されており、有事の際の即応部隊として、日本をはじめ多くの国に展開している。

■海兵隊航空団

海兵隊航空団は1912年5月22日にメリーランド州アナポリスにおいて、アルフレッド・オーステル・カニンガム中尉が出した報告書によって始まり、1917年2月17日には公式に海兵隊飛行部隊が設立された。1917年に米国が第1次世界大戦に参戦することになり、翌1918年7月に第1海兵航空隊がフランスへ派遣された。戦争が終結するまでに数人のパイロットが空中戦を経験し、爆撃においては14tを投下している。

第二次世界大戦でその戦力は急速に拡大され、ガダルカナル戦を手始めに海兵隊の上陸支援及び航空優勢の獲得に大きな働きをした。28機の撃墜記録をもつグレゴリー・ポイントン少佐をはじめとして対日戦終結までに多くのエースを生んだ。太平洋戦争では573機の喪失と引き換えに2355機の日本機を撃墜したといわれている。

戦後はヘリコプターの登場により固定翼機は徐々に廃止となったが、1947年にはFH-1ファントムが配備となり、朝鮮戦争ではF9Fパンサーが近接航空支援に投入された。ベトナム戦争においては回転翼機、固定翼機合わせて78個の飛行中隊が整備され、大きな働きをした。

■VMFAT-101 シャープシューターズ

第101海兵隊戦闘攻撃訓練飛行隊として1969年1月3日、カリフォルニア州エルトロで第10海兵航空団の戦闘機準備訓練グループの一部として開隊された。部隊はF-4ファントムIIの運用とパイ

ロットの訓練を主目的としており、1969年2月20日に最初の訓練飛行を行った。

1970年夏、部隊はアリゾナ州ユマ海兵隊航空基地に移動し、72年に18,300時間以上の無事故記録を達成して、海軍作戦部長(CNO)航空安全賞を受賞した。74年7月にVMFAT-101はノースカロライナのVMFAT-201を吸収統合して海兵隊で最大のF-4訓練飛行隊となった。1983年には海兵隊航空団の最高の戦闘機飛行隊として、ロバートM・ハンソン賞(太平洋戦争で25機撃墜のエース)受賞した。1987年5月20日、最後のF-4交換用航空機搭乗員を訓練した。以後はF/A-18戦闘機の交換訓練部隊となり現在に至っている。

■VMFA-333

1943年8月1日に偵察爆撃飛行隊VMSB-333としてノースカロライナ州チェリーポイント海兵隊航空基地で編成されたのが始めである。1944年7月にSBDドーントレスを装備しミッドウェー島に移動、対潜哨戒に従事していたが10月14日に戦闘爆撃飛行隊VMBF-333としてF4Uコルセアを装備する部隊として再編成された。

戦後は1952年8月に攻撃飛行隊VMA-333としてマイアミに配置。F6Fヘルキャット、F4Uコルセア、A-1スカイレーダーと装備を変遷。1957年1月に戦闘飛行隊VMF-333と再編されサウスカロライナ州ビューフォートに移転、FJフューリーを装備する。1960年にはF-8クルセーダーを装備する最初の海兵隊戦闘飛行隊となった。ベトナム戦争開始後の1966年6月、F-4ファントムIIが配備されることになり、部隊名も戦闘攻撃飛行隊VMFA-333と改称された。

1972年6月、部隊は空母アメリカに搭載されて作戦行動をおこなった。北ベトナムのハノイ近くでリー・T・ラセター少佐とジョン・D・カミングス大尉の搭乗するF-4J、5526号機は、MiG-21を撃墜。海兵隊機としては唯一の記録となった。ラセター少佐はのちにVMFA-333の指揮官となった。

部隊は1990年の湾岸戦争において、F/A-18戦闘機を装備して作戦に参加し地上攻撃を主任務として戦ったが、1992年に海兵隊の規模縮小に伴って解散となる。

パーツリスト

パーツを切り離す前に下の図と各ランナーを見比べ、パーツの不足や破損がないかを確認してください。

Check the contents missing or/and defective shape with reference to the parts drawing shown below.

部のパーツは使用しません。

Parts not for use.
Nicht verwenden
Non utilisées

A ランナー Tree

B ランナー Tree

C パーツ Part

D ランナー Tree

J ランナー Tree

G ランナー Tree

L1 ランナー Tree

R ランナー Tree

P ランナー Tree

X2 ランナー Tree

X1 ランナー Tree

Q ランナー Tree

デカール Decal

*製造には万全の注意を払っておりますが、万が一製造上の不良部品が内包した際にはご購入日とご購入店様名をお書き添えの上、不良箇所を撮影した画像を電子メールで、または不良部品のみを郵送にて当社へお送りください(製品全てをお送り頂く必要はございません)。代替部品と送料分の切手をお送りします。〒441-3301 愛知県豊橋市老津町的場53-2 (有)ファインモールド

作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全工程に目を通し、組立工程ごとにイラストを見ながら部品の取り付け位置を事前に確認して組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤と塗料は付属していません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- カッターナイフや模型用ニッパー、ピンセット、ピンバイス(ドリル刃0.6mm、1.0mm、1.6mm、)をご用意ください。
- 各部の塗装はGSIクレオス・Mr.カラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカラーやアクション、タミヤカラーやガイアカラーを使用する場合は、「カラーナンバー対応表」を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the position of the installation before installing parts following the illustration. Cement and paints are not included in the kit. Side cutters, modeling knife, and pin vise with 0.6mm and 1.0mm, 1.6mm bits, and tweezers are also required for assembly. Please carefully use tweezers for the installation of small parts. The boxed numbers in each illustration refer to the number of "Mr.COLOR" from GSI Creos. Please also check the color reference.

注意 ちゅうい

本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよくお読みください。

1. 部品を取り出した後のビニール袋は放置しないでください。子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。
2. 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは部品の入っていたビニール袋と共に「プラスチックごみ」として、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
3. 尖っている部品があります。お子様の手の届く所に放置しないでください。他の用途には絶対に使わないでください。
4. 特にお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが側にいる。もしくは出入りする環境での作業や放置はおやめください。
5. 組み立ての際、ニッパーナイフ等を不用意に取り扱うと刃先で怪我をする恐れがあります。注意してください。
6. 接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。
- 中毒の恐れがあるので閉めきった室内では使用しない。●引火の恐れがあるので火の近くで使用しない。●接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
7. 工具・接着剤・塗料を使用する前には、それぞれの説明書に記載の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

CAUTION MAKE SURE TO READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.

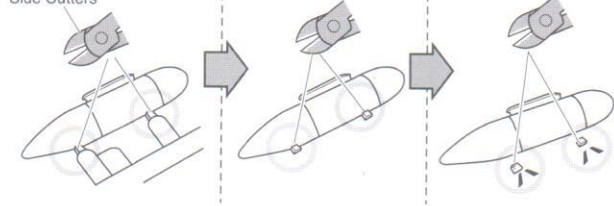
THIS IS NOT A TOY! This model kit is suitable for age 10 to adult. When assembled by children aged 14 or younger, it is recommended that an adult, who has read the instructions, supervise the process.

1. This is an unassembled kit. Read the instructions before assembling.
2. Tear up and discard the plastic bags containing kit parts as children may accidentally hurt themselves by swallowing or suffocate by putting the bags over their head.
3. After preparing the parts by cutting, please dispose of the waste properly.
4. Don't play with the parts because some parts have sharp points. Exercise caution and care when assembled with infants in nearby vicinity.
5. Keep all parts out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouth, or pull plastic bags over their head (risk of suffocation).
6. Assembly involves the use of tools including knives. Extra care should be taken to avoid personal injury.
7. Take the following precautions when using adhesives and / or paints: Don't use in a closed room to avoid poisoning / intoxication. Don't use near fire (risk of flammability). Avoid contact with either your eyes or mouth. In case of accidental contact, rinse with large amounts of water and consult a doctor.
8. Read and follow the instructions supplied for the tools, the cement and the paints when used for assembly.

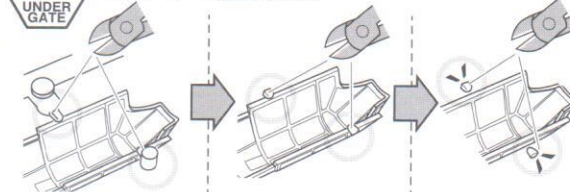
■パーツの切り取り方 To remove parts from tree

※ランナー(枠)から各パーツを切り離した際に突起が残った時は、カッターや模型用ヤスリ等で取り除いてください。

模型用ニッパー
Side Cutters



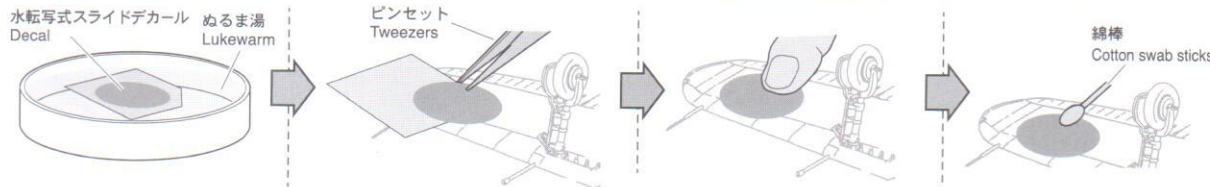
●部番に左記アイコンが併記された部品はアンダーゲート処理を行います



■水転写式スライドデカールの貼り方 Decal Application

1. 1回に必要なマークのみを台紙と共にハサミで切り抜きます。
2. 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをずらしてモデルに移します。
4. 濡らした指などでずらしながら正しい位置に動かします。
5. 位置が決まったら、柔らかい布や綿棒などで気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れないとマーク全体が移動するので注意)
6. 曲面や凹凸部にマークを密着させる際は、GSIクレオス製Mr.マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業します。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないでください。(マークソフター本体の取扱説明も参照ください)

1. Cut off each decal mark from the sheet.
2. Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
3. Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
4. Move decal into position by wetting the decal with finger.
5. To push out excess water and air bubbles under mark, Press the decal gently with a soft cloth or cotton swab sticks.
6. Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
7. Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.



ディテールアップ パーツ(別売り)

※価格は販売店様へお問い合わせください

DETAIL-UP PARTS
NOT INCLUDED,
SOLD SEPARATELY

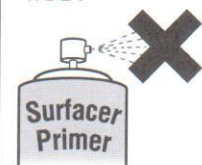
DETAIL OPTION UP

別売りのディテールアップパーツを取り付ける場合は、組立図中に左記マークのある段階でおこないます。取り扱いの詳細はディテールアップパーツ製品に封入された組立説明書を参照してください。

Installs Detail-Up Parts at the step indicated the left mark if you would like to do.

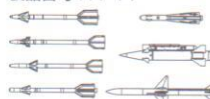
■注意

サーフェイサー/プライマーの使用はお控えください



パネルライン、リベット等の繊細な彫刻がサーフェイサーにより埋もれる可能性があります。

アメリカ軍
航空機用ミサイルセット2
('60s~'70)
(プラスチックパーツ)
製品番号: FP44



U.S. Aircraft Missile Set #2
(Plastic parts) ITEM No. FP44

アメリカ軍
航空機用爆弾セット('60s~)
(プラスチックパーツ)
製品番号: FP45



U.S. Aircraft Bomb Set
(Plastic parts) ITEM No. FP45

現用機用シートベルト4
(プラスチックパーツ)
製品番号: NA10



Modern Aircraft Seatbelt Set #4
(Plastic parts) ITEM No. NA10

バックミラー/サイドパネルセット
(プラスチックパーツ)
製品番号: NA15



Rear view mirror & Formation light
(Plastic parts) ITEM No. NA15

- ↑ 接着します
Glue
Kleben
Coller
- ⇄ はめ込みます
Fitting
Anprobe
Aller
- ✗ 接着しません
Don't glue
Nicht kleben
Ne pas coller
- ✂ 切り取ります
Remove
Entfernen
Enlever
- ❓ どちらか選びます
Optional
Wahlweise
Facultatif
- 0.0 mm
穴を開けます
Make a hole
Loch bohren
Fare un trou
- 🚫 **UNDER GATE**
アンダーゲートを処理します
Remove under gate
Entfernen unter den Toren
Enlever sous les portes
- 🚫 けがをしないように
Not to get hurt
Um nicht zu verletzen
Afin de ne pas blesser
- 🚫 **CYANOACRYLATE**
瞬間接着剤を使用します
Use Cyanoacrylate (Superglue)
Sekundenkleber
Colle rapide
- ⚠ 注意します
Attention
Aufmerksamkeit
Faire attention
- ★ ○ 数字で指示した水転写デカールを貼ります
Number of decal to soak and apply
Abziehbild in Wasser einweichen und anbringen
Mouiller et appliquer les décalcomanies

組立図中で塗装指示の無いものは「塗装とマーキング」ページで説明する機体色で塗装します。 Paint all parts body color except other color is specified.

STEP 1

33 つや消しブラック
FLAT BLACK

317 グレー-FS36231
GRAY FS36231

316 ホワイト-FS17875
WHITE FS17875

P4 A1 A4

STEP 2

R3 R7 R7 R4 R4

33 317 33 317

R4 R3

A36 A33 A33 A3

133 134 136 317 317

A3 317

STEP 3

Q18 R11 R12 Q17 A14

33 317 33 317 317 317 135 136 137 139 33

317 グレー-FS36231
GRAY FS36231

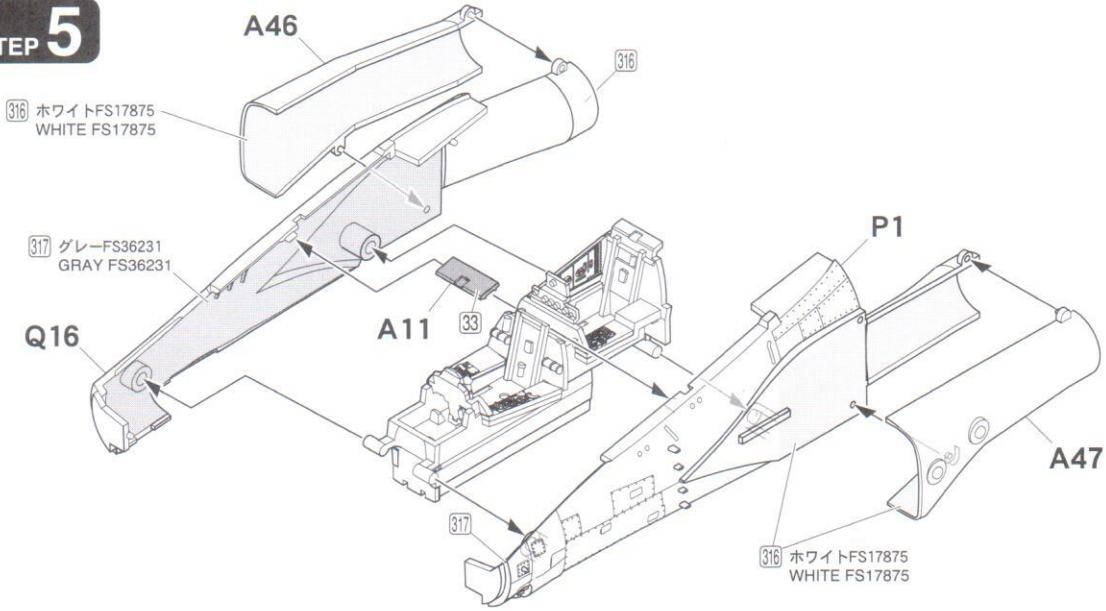
STEP 4

R9 R10 A10

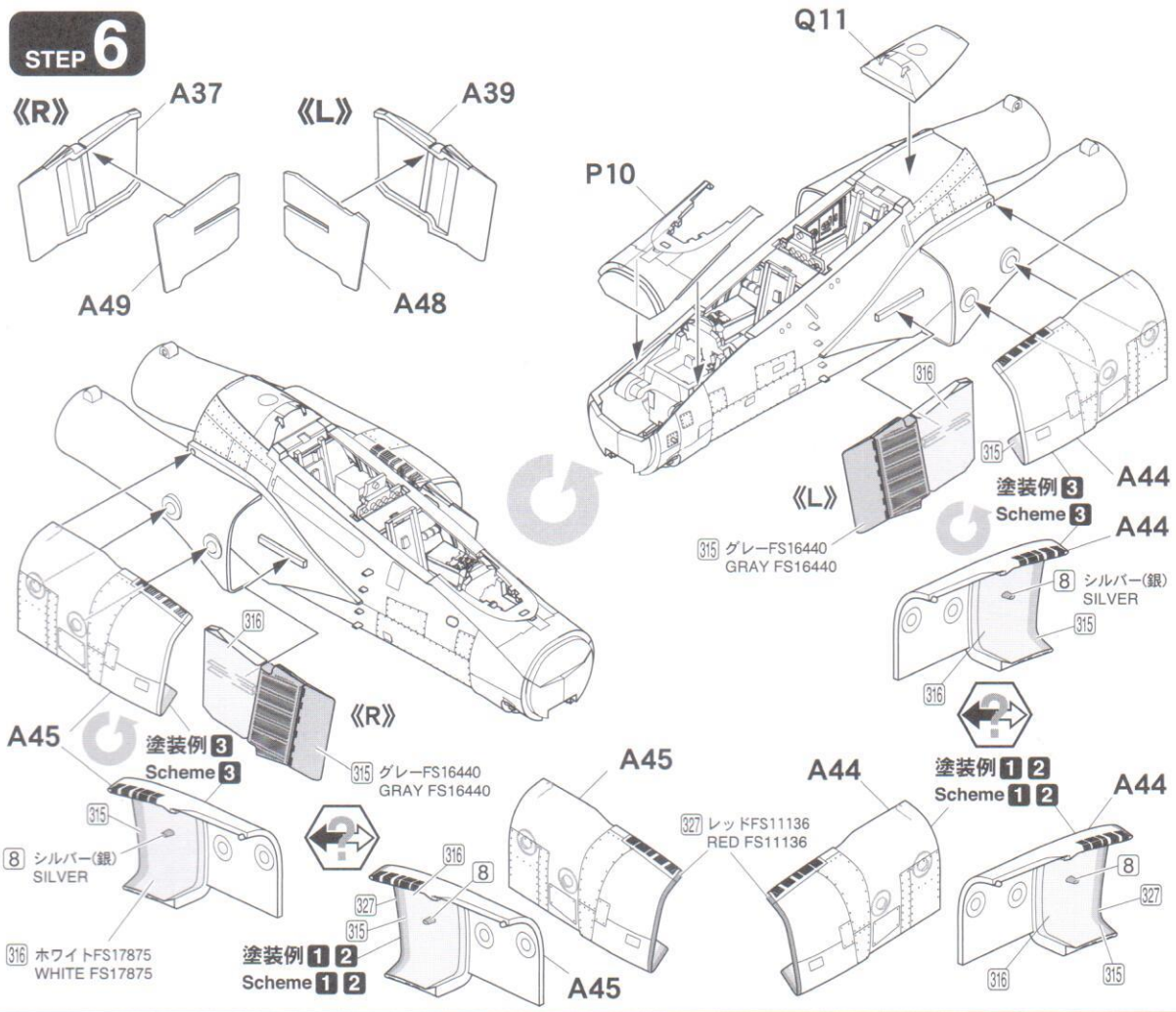
33 317 129 131 130 132 317

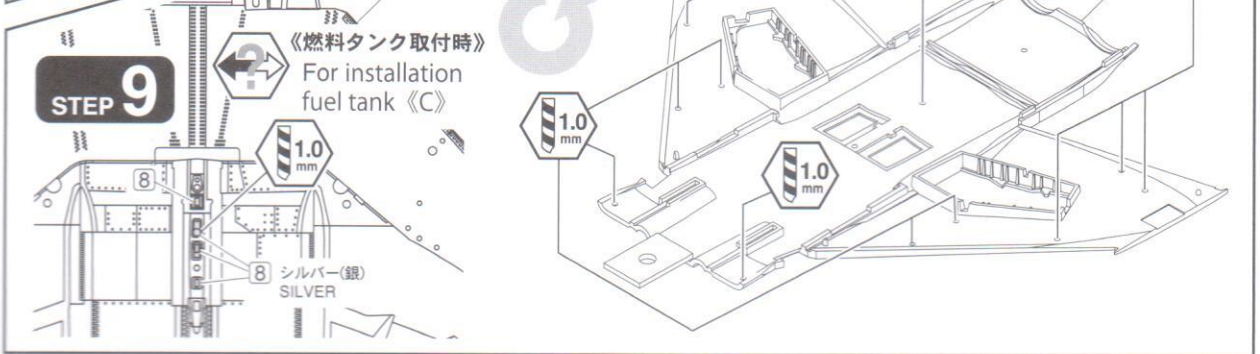
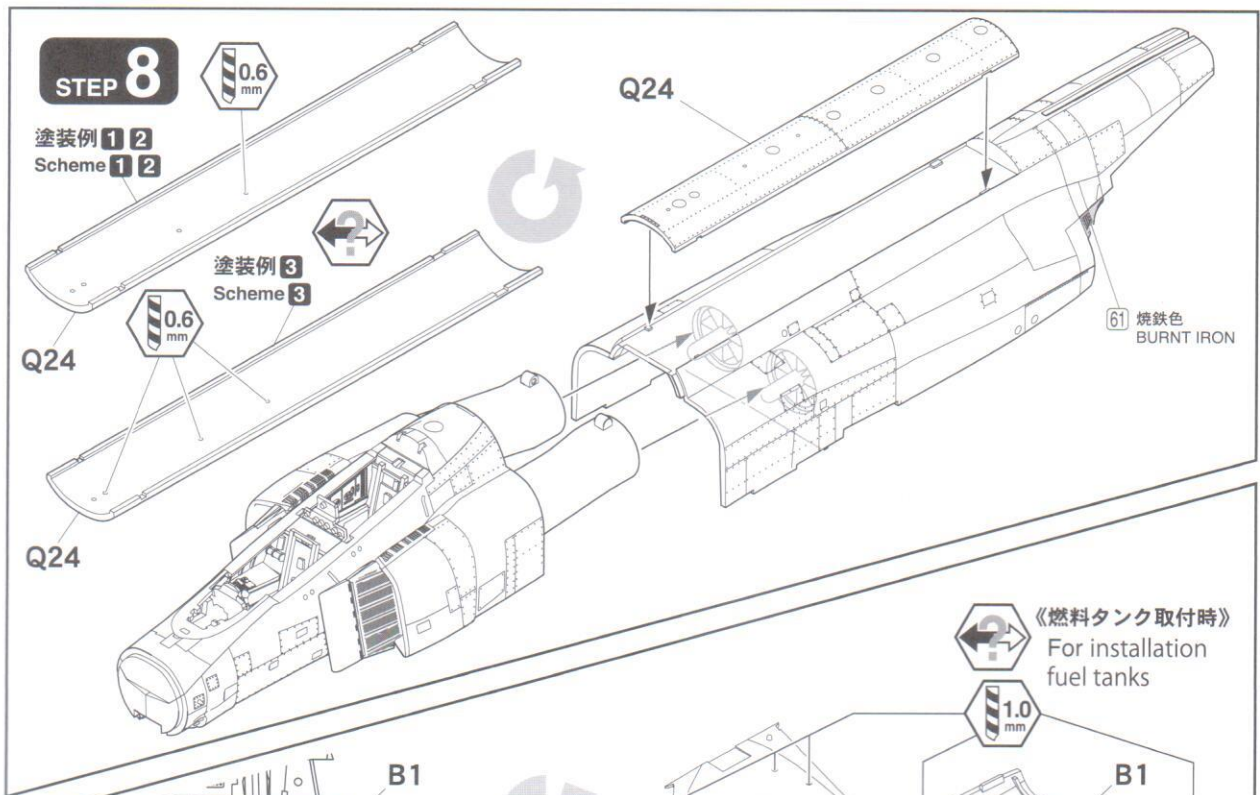
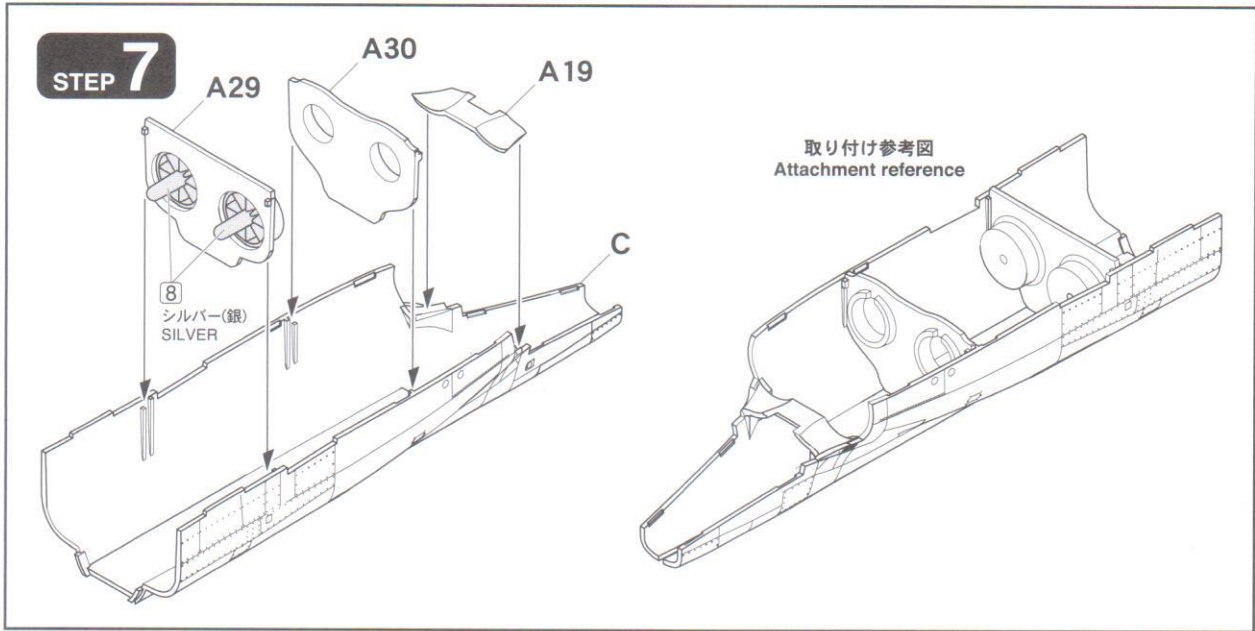
317 グレー-FS36231
GRAY FS36231

STEP 5

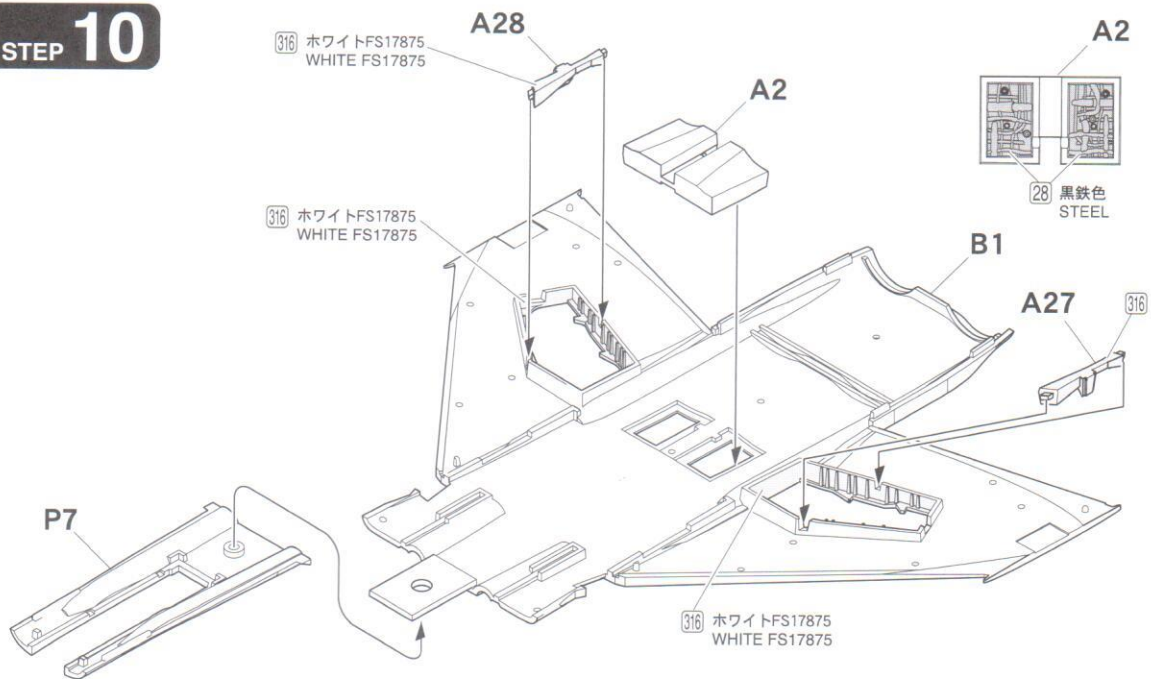


STEP 6

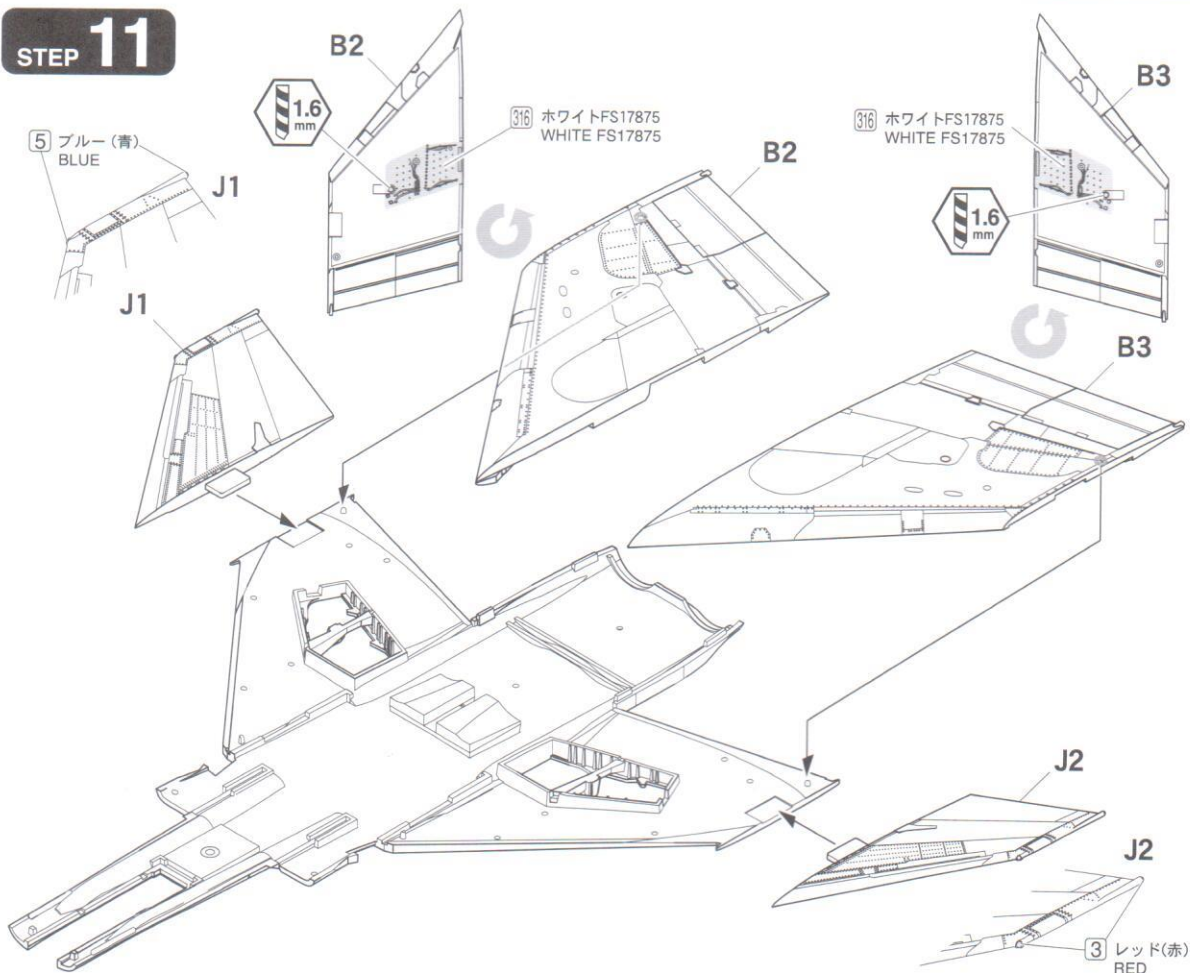




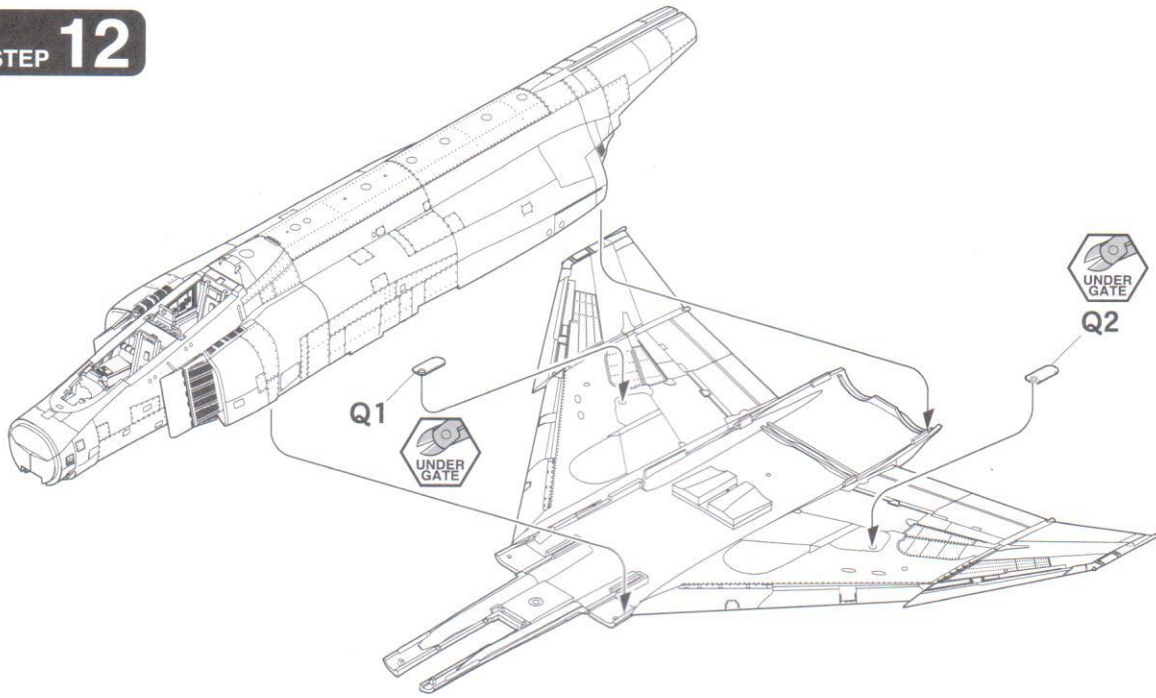
STEP 10



STEP 11

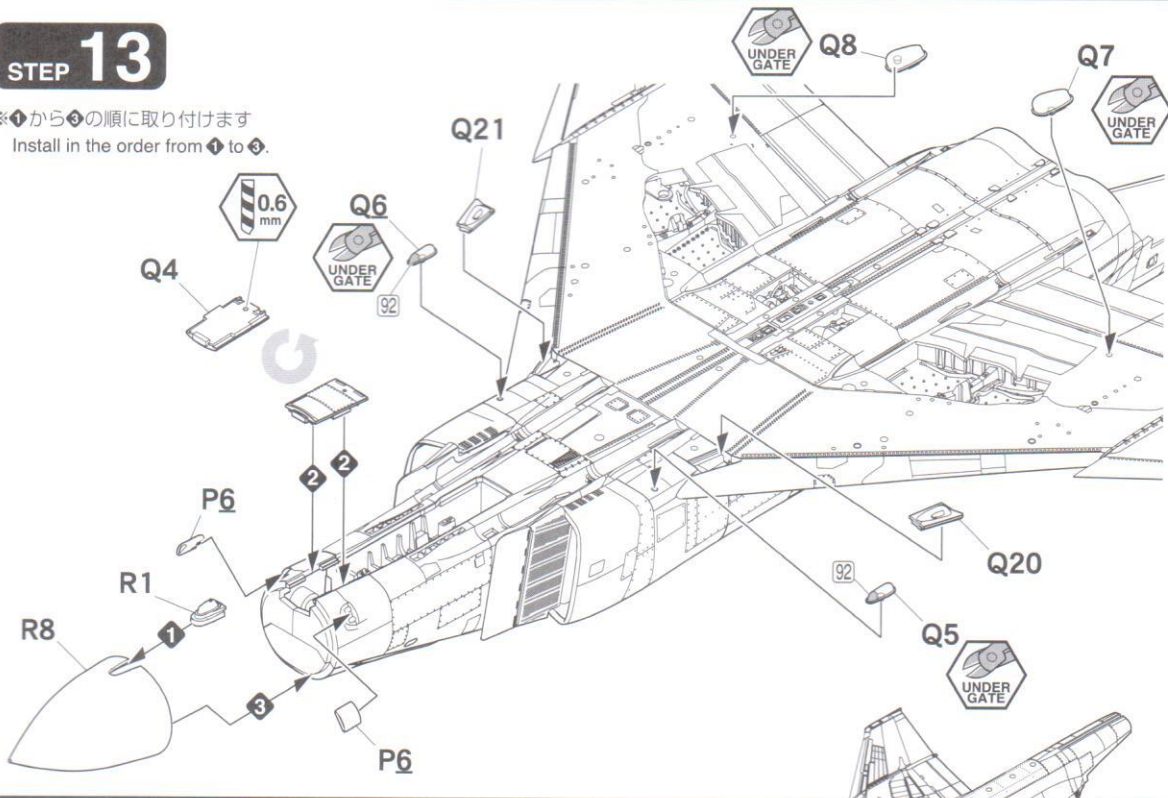


STEP 12



STEP 13

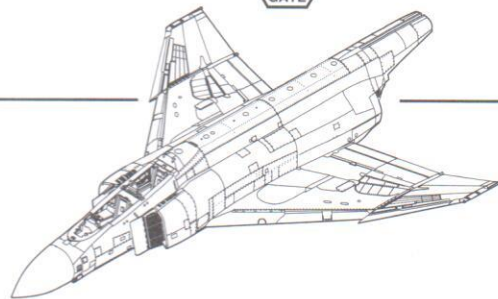
※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.



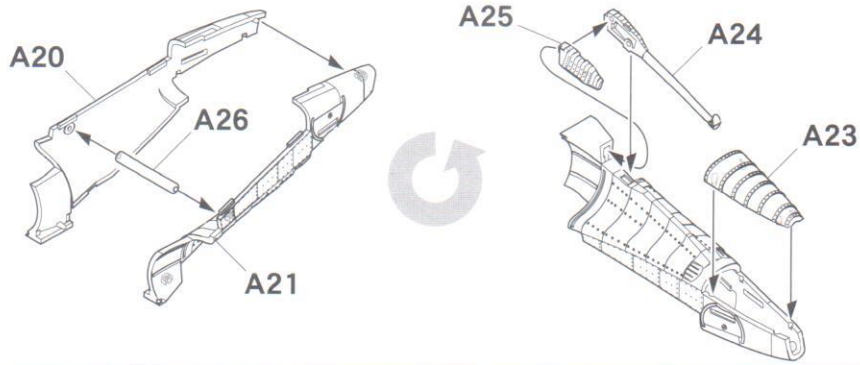
●塗装ガイド Painting

ここまで組み立てた段階で、巻末の「塗装とマーキング」を参考に機体全体を塗装をします。
スプレー・エアブラシ等の吹き付け塗装の際は、塗装済み箇所をマスキングしてください。

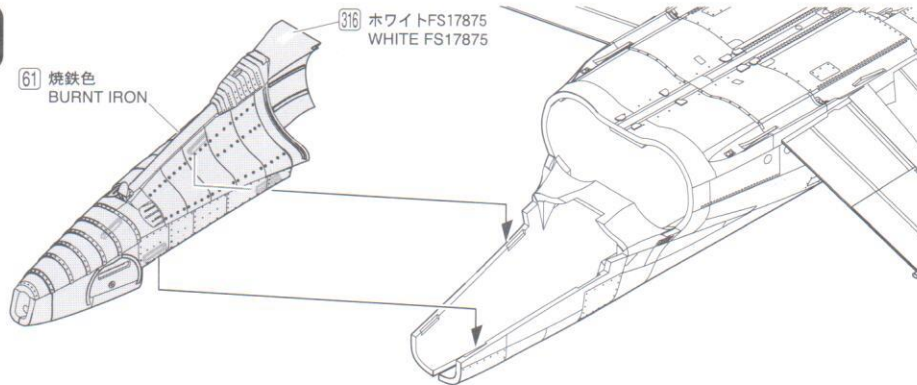
At this point, you should paint the entire aircraft using the "Painting and marking" shown at the end of this instruction. If you are employing spray paints or airbrushes, then mask portions that have already been painted previously.



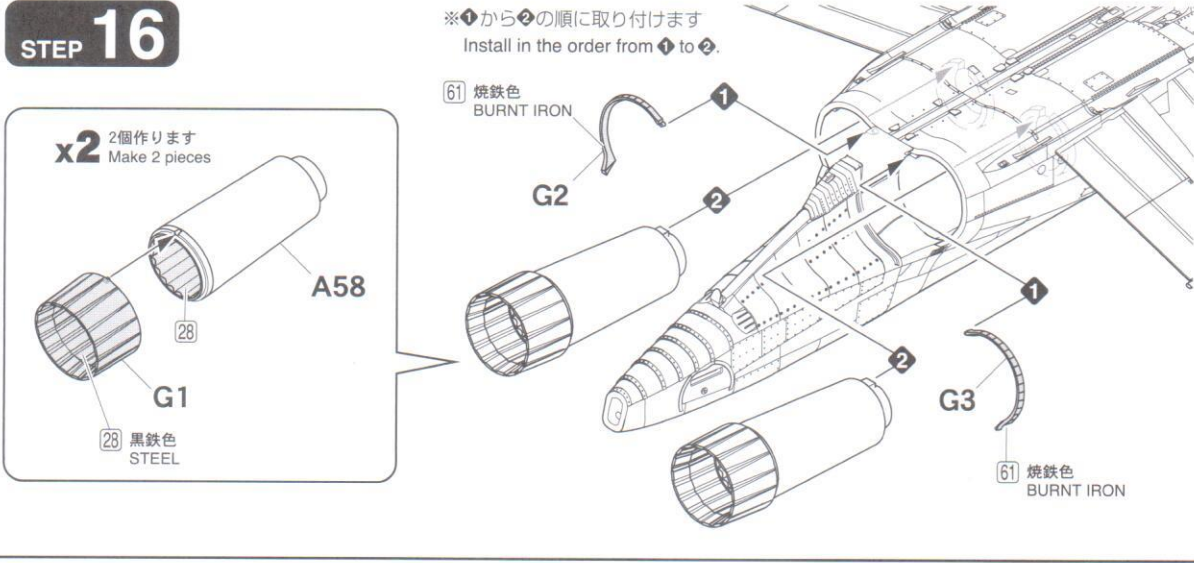
STEP 14



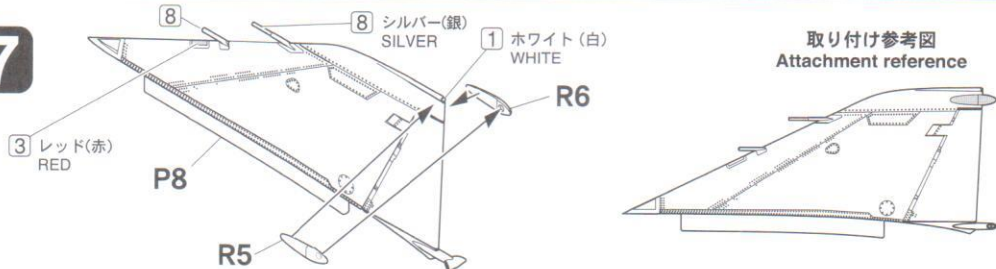
STEP 15



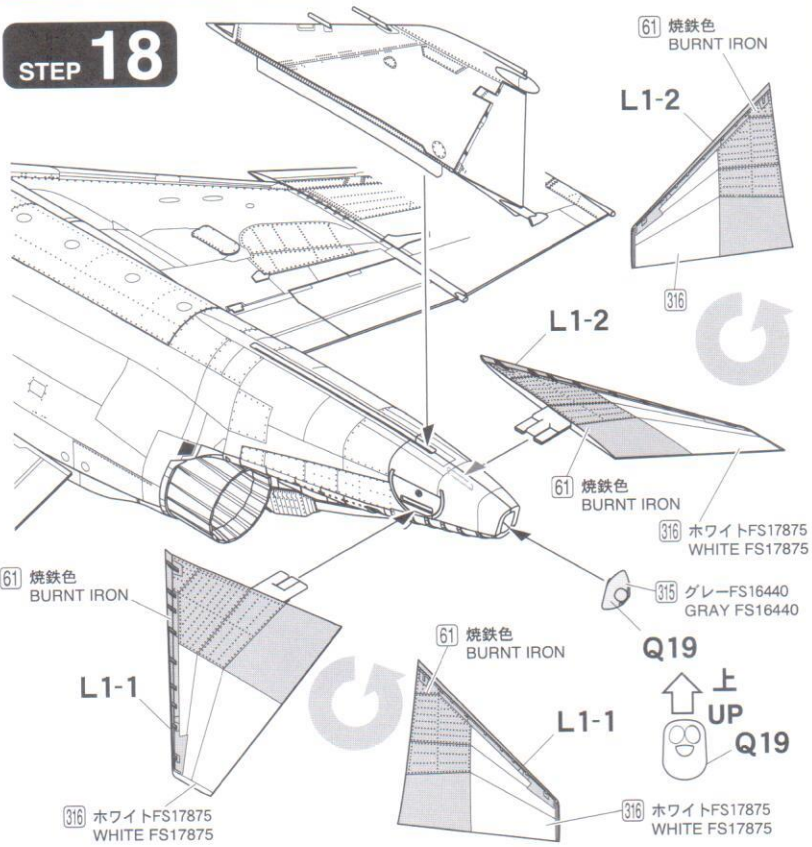
STEP 16



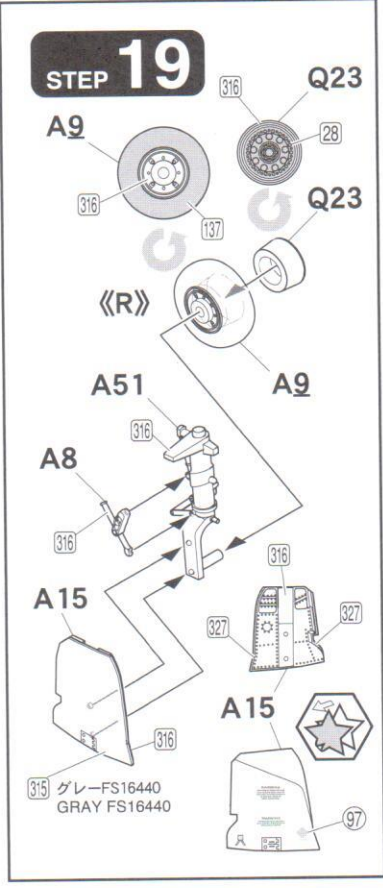
STEP 17



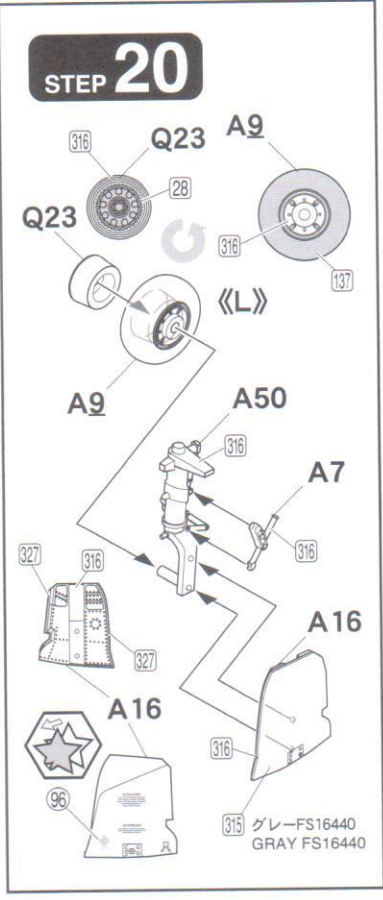
STEP 18



STEP 19

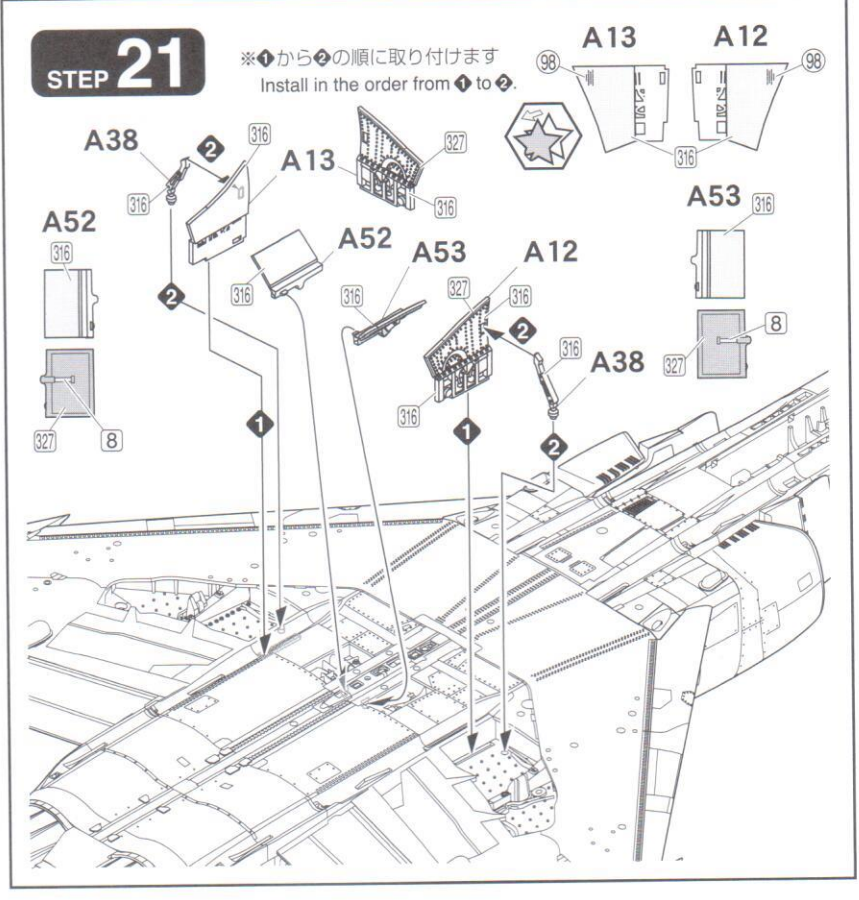


STEP 20



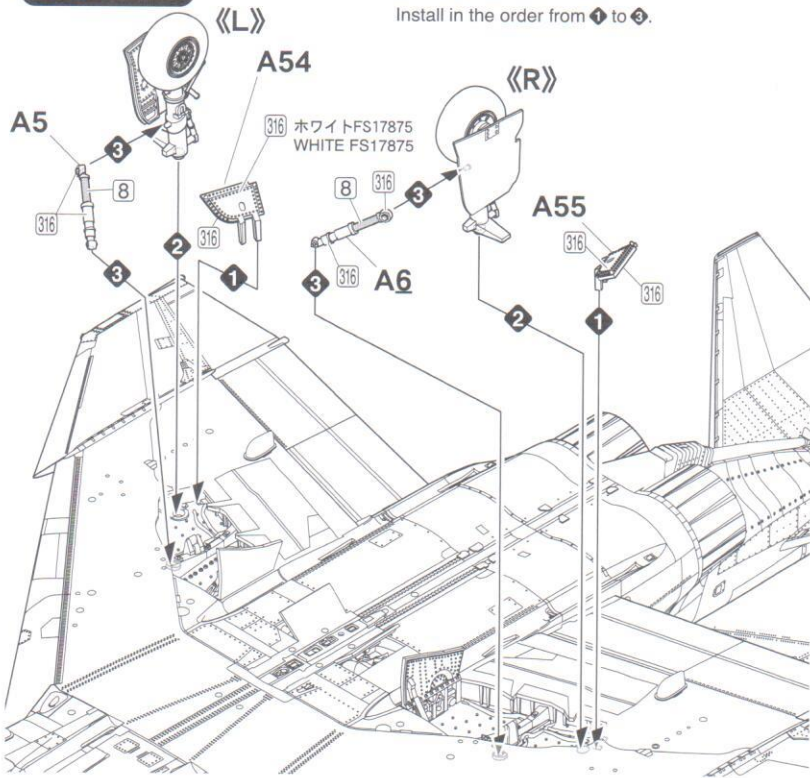
STEP 21

※①から②の順に取り付けます
Install in the order from ① to ②.

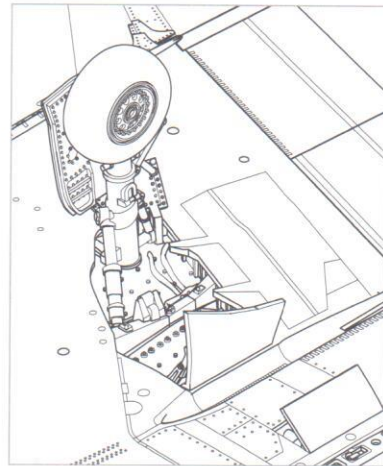


STEP 22

※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.



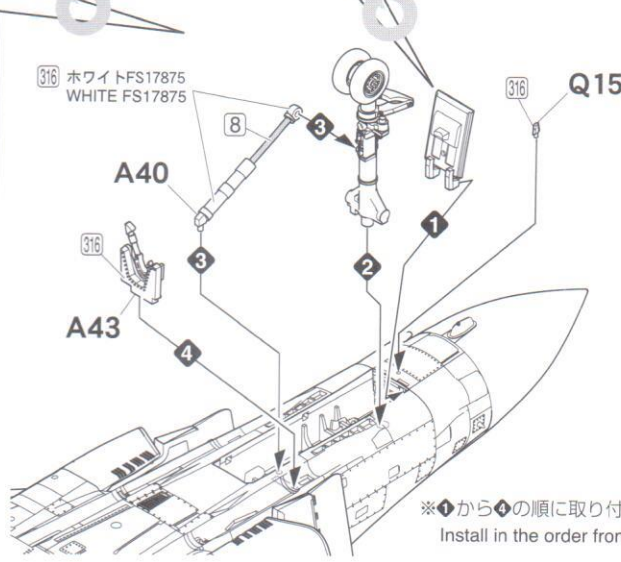
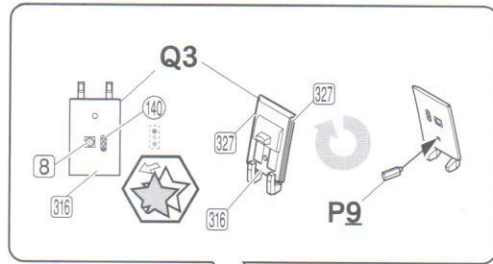
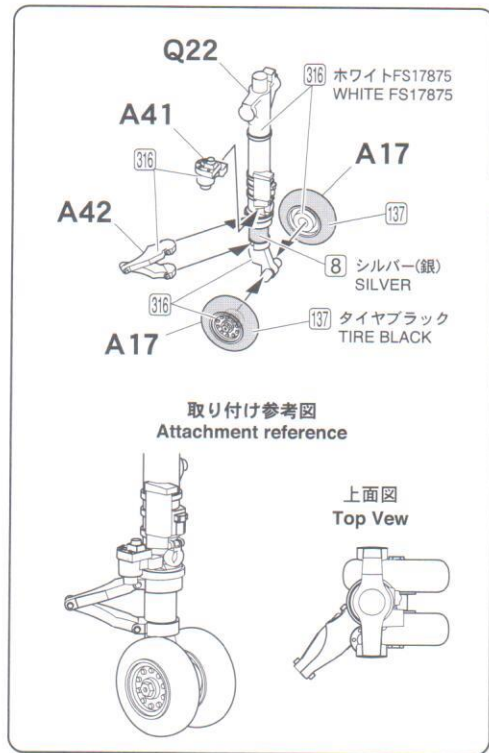
取り付け参考図
Attachment reference



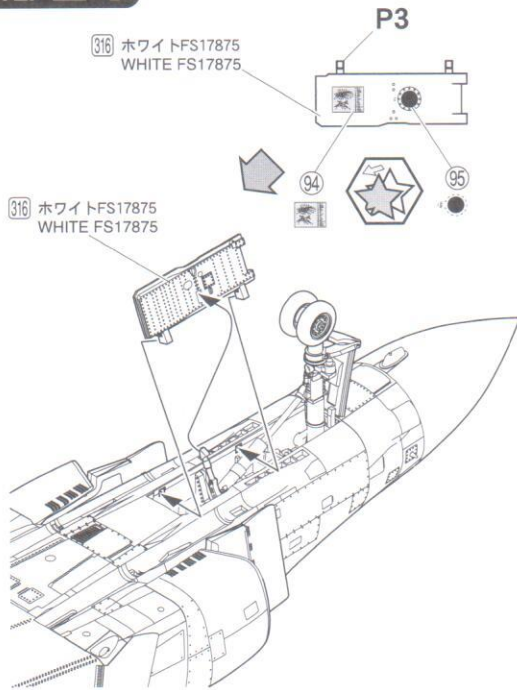
前
Forward



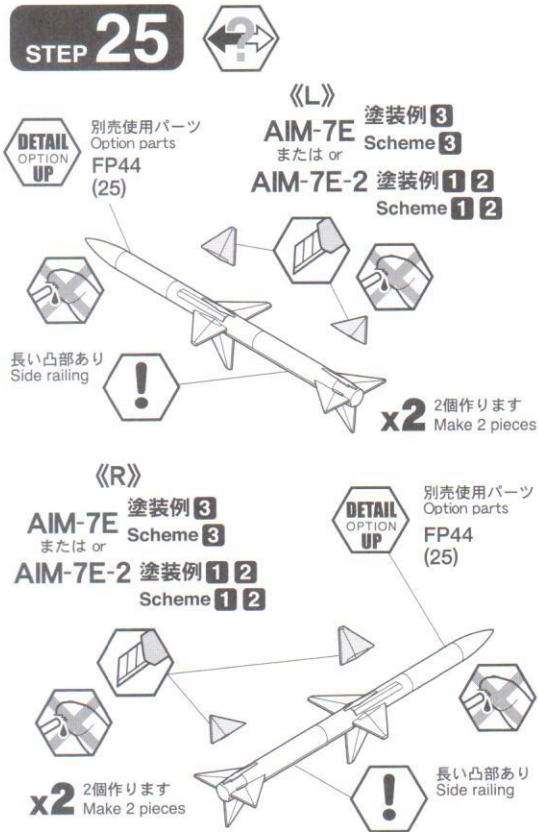
STEP 23



STEP 24

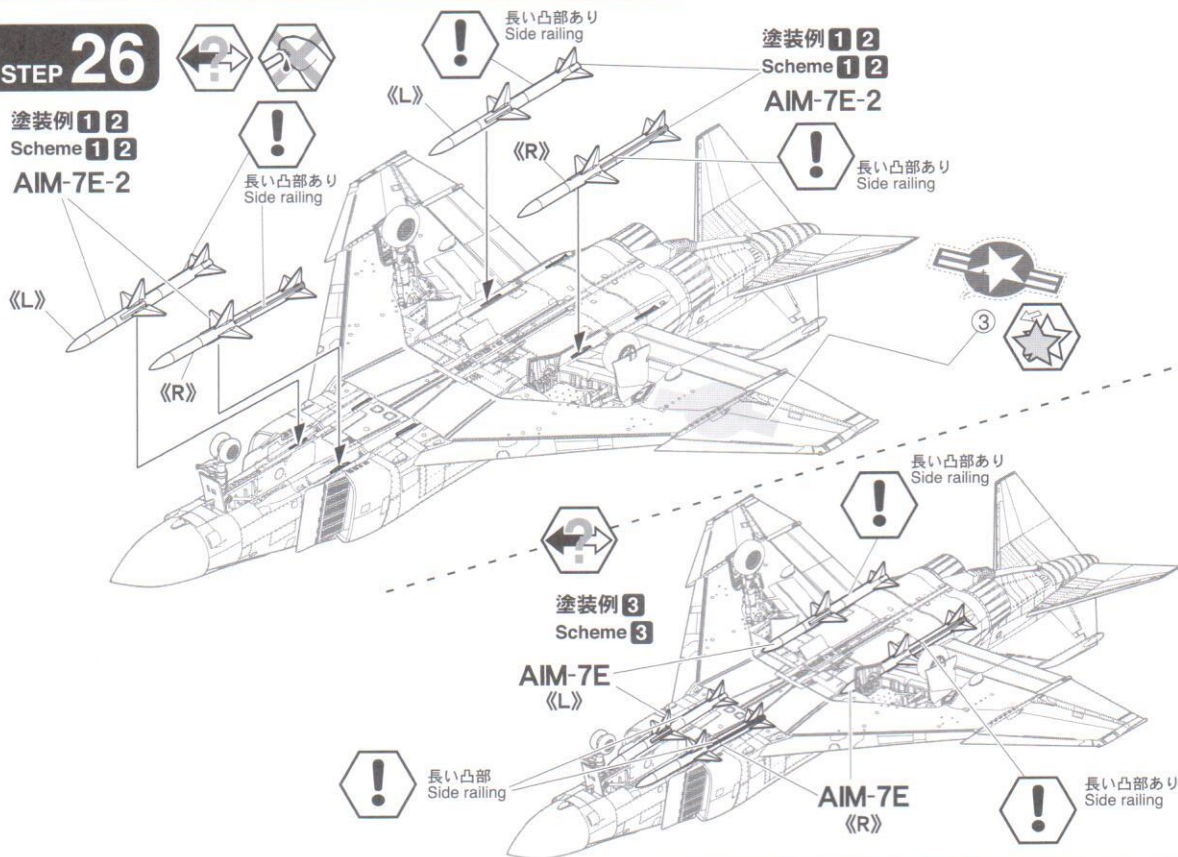


STEP 25



STEP 26

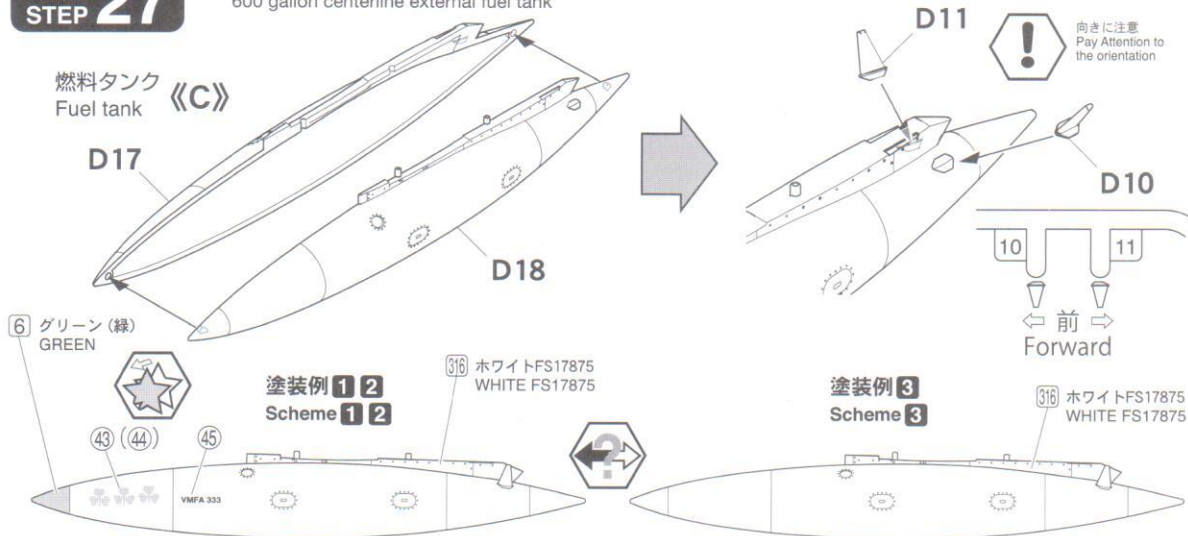
塗装例 1 2
Scheme 1 2
AIM-7E-2



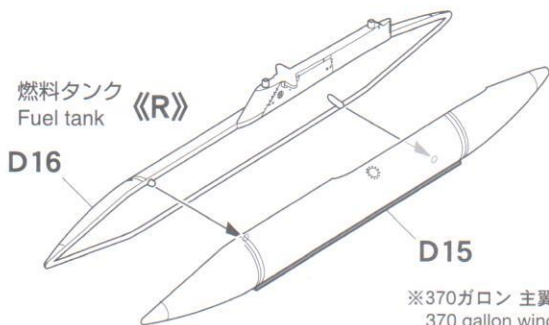
STEP 27

※600ガロン 胴体下面タンク
600 gallon centerline external fuel tank

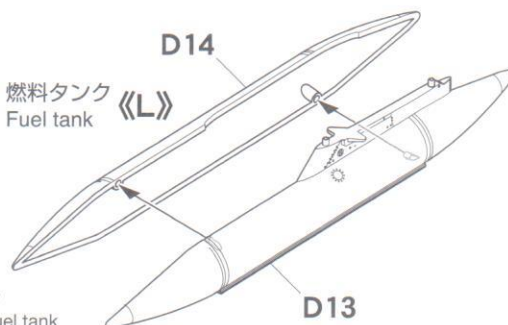
燃料タンク 《C》
Fuel tank 《C》



燃料タンク 《R》
Fuel tank 《R》



燃料タンク 《L》
Fuel tank 《L》

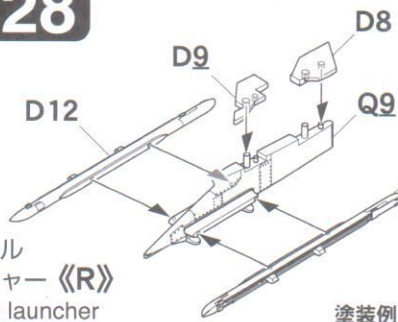


※370ガロン 主翼下面タンク
370 gallon wing external fuel tank

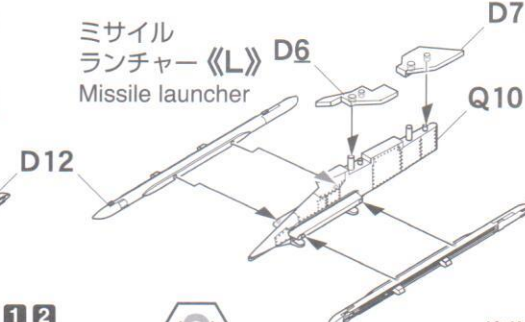


STEP 28

ミサイルランチャー 《R》
Missile launcher 《R》



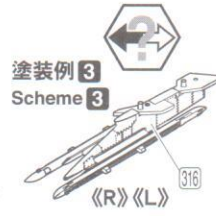
ミサイルランチャー 《L》
Missile launcher 《L》



塗装例 1 2
Scheme 1 2



塗装例 3
Scheme 3



取り付け参考図
Attachment reference



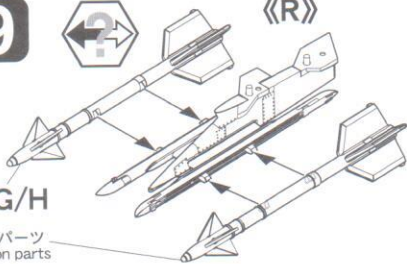
取り付け参考図
Attachment reference



STEP 29



《R》

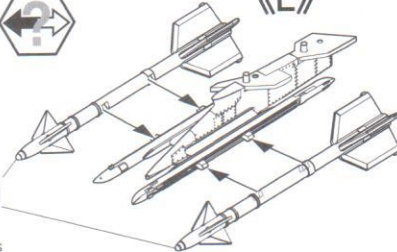


AIM-9D/G/H

別売パーツ
Option parts
FP44
(23)



《L》



AIM-9D/G/H

別売パーツ
Option parts
FP44
(23)

STEP 30



塗装例 1
Scheme 1

別売パーツ
Option parts

FP45
AP10+AP11

FP45
(5)

316

燃料タンク
Fuel tank 《C》

FP45
(5)



別売パーツ
Option parts
FP45
AP9+AP12

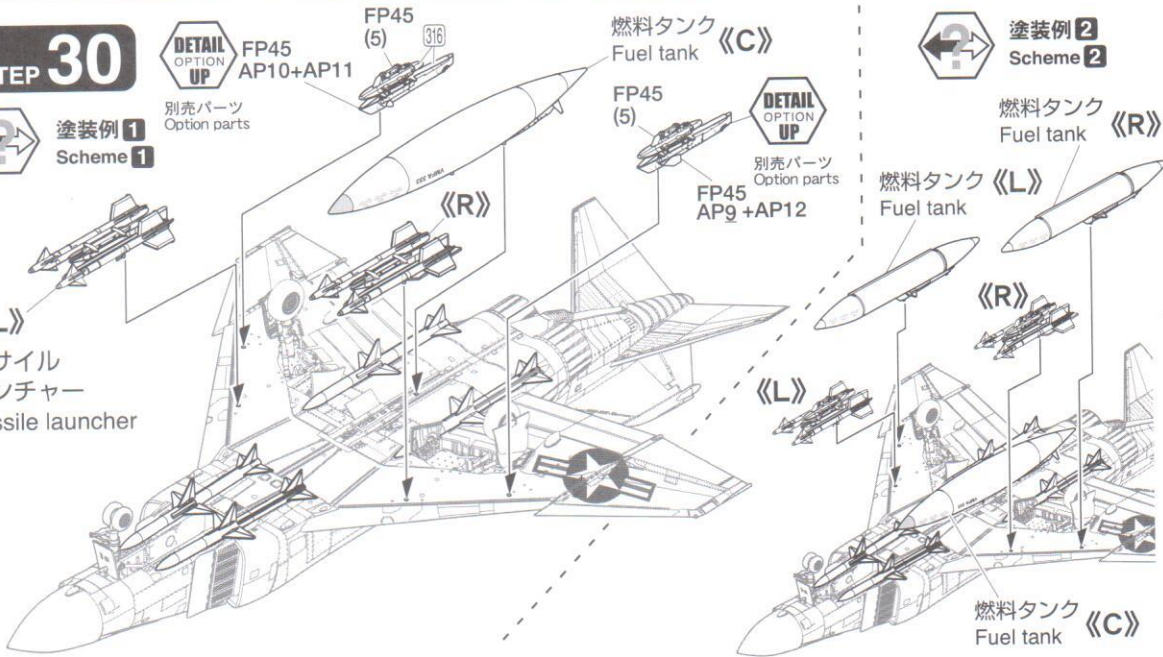


塗装例 2
Scheme 2

燃料タンク
Fuel tank 《R》

燃料タンク 《L》
Fuel tank

《L》
ミサイル
ランチャー
Missile launcher



燃料タンク 《C》
Fuel tank

STEP 31



塗装例 3
Scheme 3

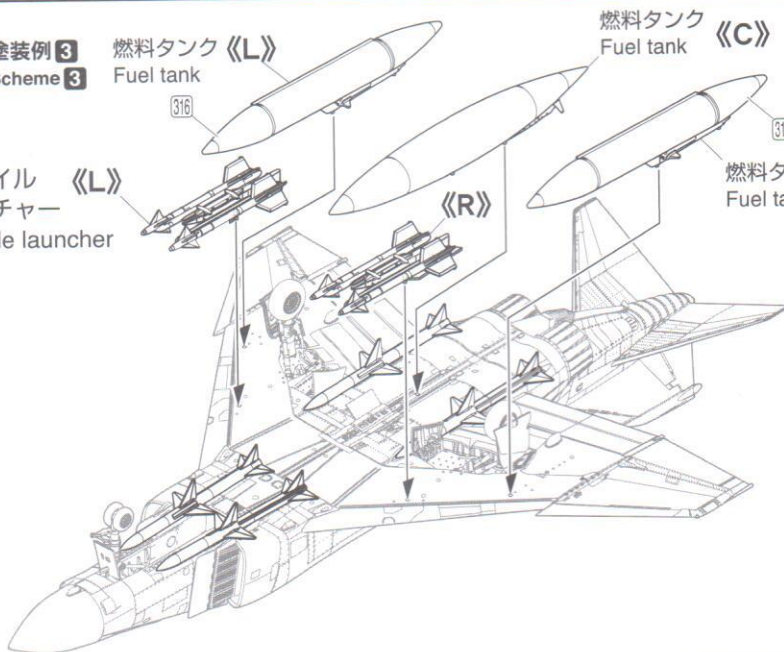
燃料タンク 《L》
Fuel tank

316

燃料タンク 《C》
Fuel tank

ミサイル 《L》
ランチャー
Missile launcher

燃料タンク 《R》
Fuel tank



STEP 32

燃料タンク 《L》
Fuel tank

別売パーツ
Option parts
FP45
1+7+6

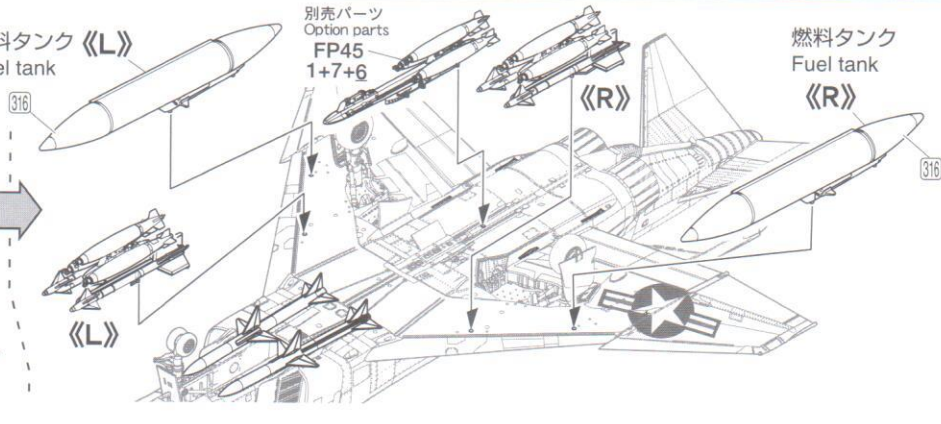
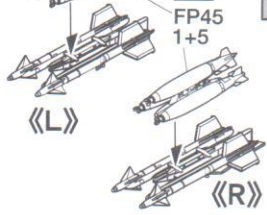
燃料タンク 《R》
Fuel tank



別売パーツ
Option parts

DETAIL
OPTION
UP

FP45
1+5

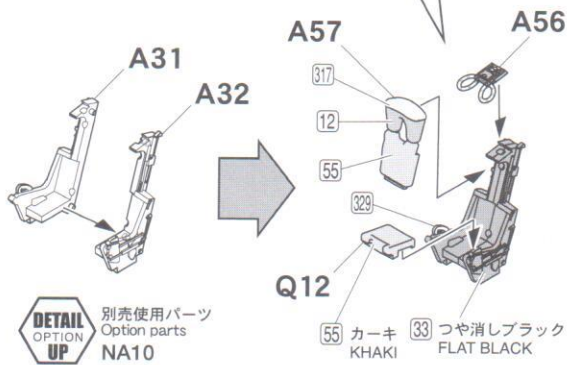


STEP 33

x2 2個作ります
Make 2 pieces

- 327 レッドFS11136
RED FS11136
- 317 グレーFS36231
GRAY FS36231
- 33 つや消しブラック
FLAT BLACK
- 329 イエローFS13538
YELLOW FS13538

A56



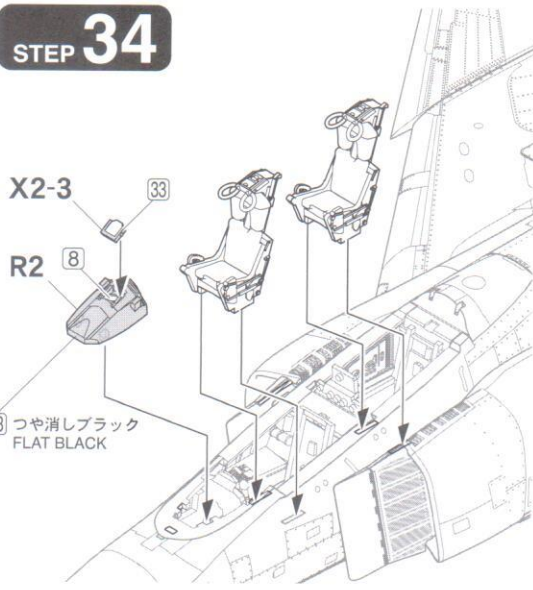
DETAIL
OPTION
UP 別売使用パーツ
Option parts
NA10

STEP 34

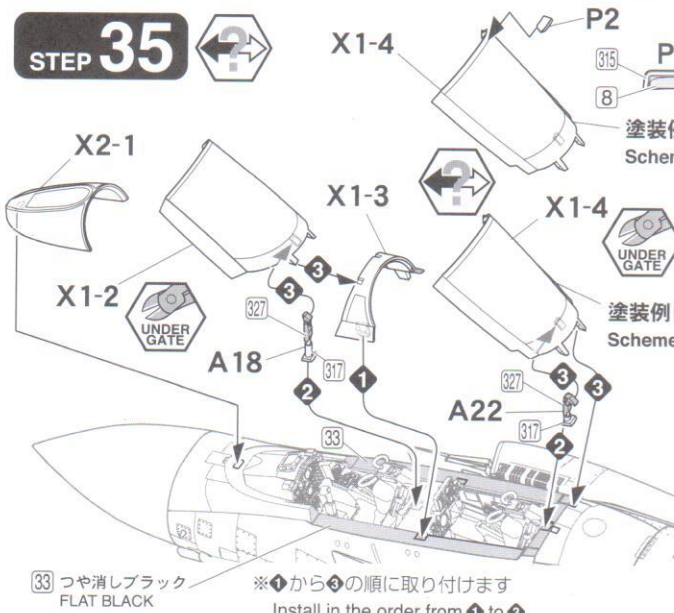
X2-3

R2

33 つや消しブラック
FLAT BLACK



STEP 35



33 つや消しブラック
FLAT BLACK

※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.

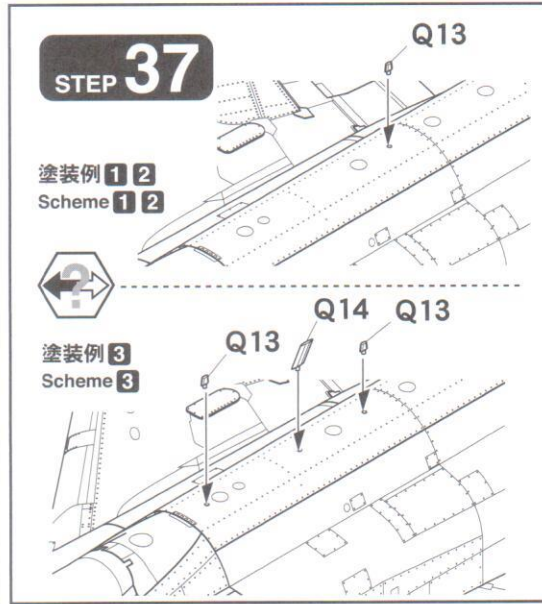
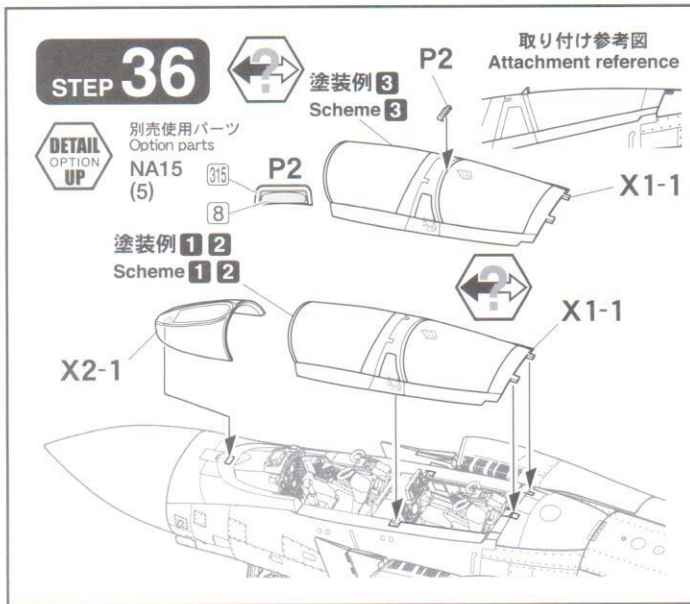
塗装例 3
Scheme 3

取り付け参考図
Attachment reference

塗装例 1 2
Scheme 1 2

別売使用パーツ
Option parts
NA15
(4), (6)

DETAIL
OPTION
UP



カラーナンバー対応表 ※近似色での表示です **Color Reference**

GSiクレオス・Mr.カラー(□数字)	GSiクレオス・水性カラー	GSiクレオス・アクリジョン	タミヤカラー(アクリル・エナメル)	タミヤカラー(ラッカー)	ガイアノーツ・ガイアカラー	English
1 ホワイト(白)	H1 ホワイト(白)	N1 ホワイト(白)	X2 ホワイト	LP2 ホワイト	001 ピュアホワイト	Gloss White
3 レッド(赤)	H3 レッド(赤)	N3 レッド(赤)	X7 レッド		003 ブライトレッド	Red
5 ブルー(青)	H5 ブルー(紺)	N5 ブルー(青)	X4 ブルー		004 ウルトラブルー	Blue
6 グリーン(緑)	H6 グリーン(緑)	N6 グリーン(緑)	X5 グリーン		013 ビリジアングリーン	Green
8 シルバー(銀)	H8 シルバー(銀)	N8 シルバー(銀)	X11 クロームシルバー	LP11 シルバー	009 ブライトシルバー	Silver
12 オリーブドラブ ¹	H52 オリーブドラブ ¹	N52 オリーブドラブ ¹	XF62 オリーブドラブ	LP28 オリーブドラブ		Olive Drab
28 黒鉄色	H18 黒鉄色	N18 黒鉄色	X10 ガンメタル		020 ガンメタル	Gun Metal
33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	N12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	LP3 フラットブラック	012 フラットブラック	Matt Black
50 クリアブルー	H93 クリアブルー	N93 クリアブルー	X23 クリアブルー	LP68 クリアブルー	044 クリアブルー	Clear Blue
55 カーキ	H81 カーキ	N81 カーキ	XF49 カーキ	LP73 カーキ		Khaki
61 焼鉄色	H76 焼鉄色	N76 焼鉄色	XF7+XF56			Burnt Iron
92 セミグロスブラック			X18 セミグロスブラック	LP5 セミグロスブラック	022 セミグロスブラック	Semi Gloss Black
137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	N77 タイヤブラック	XF85 ラバーブラック	LP65 ラバーブラック	075 ニュートラルグレイ-V	Tyre Black
315 グレー FS16440				LP34 ライトグレイ		FS16440
316 ホワイト FS17875				LP35 インジニアホワイト	071 ニュートラルグレイ-I	FS17875
317 グレー FS36231						
327 レッド FS11136					003 ブライトレッド	FS11136
329 イエロー FS13538					005 サンシャインイエロー	FS13538

部品を破損・紛失された際は

紛失・破損などにより部品を請求される方はランナー(枠)単位で有償にてお分けいたします。下記の部品請求カード(コピー可)の必要ランナー名を○で囲みます。代金(消費税・送料込)を右記お支払い方法からお選びいただき、当社アフターサービス係(宛先は右下記載)までお申し込みください。いずれのパーツも本カード1枚につき1キット分に限りさせていただきます。製品はその仕様もしくは価格を予告無く変更することがございます。

ご注文とお支払い方法

●「定額為替」「現金書留」「銀行振込」にてご送金の場合
左下欄の部品請求カード(コピー可)の必要ランナー名を○で囲み、お名前・ご住所・電話番号を書き添えたメモを同封いただき、定額為替、現金書留の場合は共に郵送してください。郵便振替または銀行振込にてお支払いの場合は、部品請求カードとお振込(予定)日・お振込人名を別途郵送ください。
郵便振替の場合は払込用紙の通信欄に「製品番号、品名、ランナー名(部品枠)、数量」をご記入ください。
ご入金を確認でき次第発送いたします。為替手数料あるいは振込手数料、送料はお客様にてご負担ください。
切手での送金はお受けできません。ご了承ください。

■郵便振替口座:
00840-2-21475
加入者名:
(有)ファインモールド

■銀行振込口座:
三菱UFJ銀行 豊橋支店
普通 5369261
有)ファインモールド

◆部品請求カード

No. 72843 アメリカ海兵隊 F-4J "マリーンズ"

A	¥750	Q	¥500
B	¥500	R	¥400
C	¥400	L1	¥400
D	¥400	X1	¥400
G	¥350	X2	¥400
J	¥350	デカール	¥750
P	¥500	説明書	¥500

Use Only in Japan

有限会社ファインモールド

〒441-3301
愛知県豊橋市老津町場53-2
TEL:0532-23-6810 FAX:0532-23-6811
※お電話でのお問い合わせ対応時間:
土・日・祝・夏期および年末年始の休業日を除く
午前9時30分～午後5時30分

インターネットホームページ
<http://www.finemolds.co.jp>

Eメールアドレス:
otemami@finemolds.co.jp

© 2021 Fine Molds Made in Japan

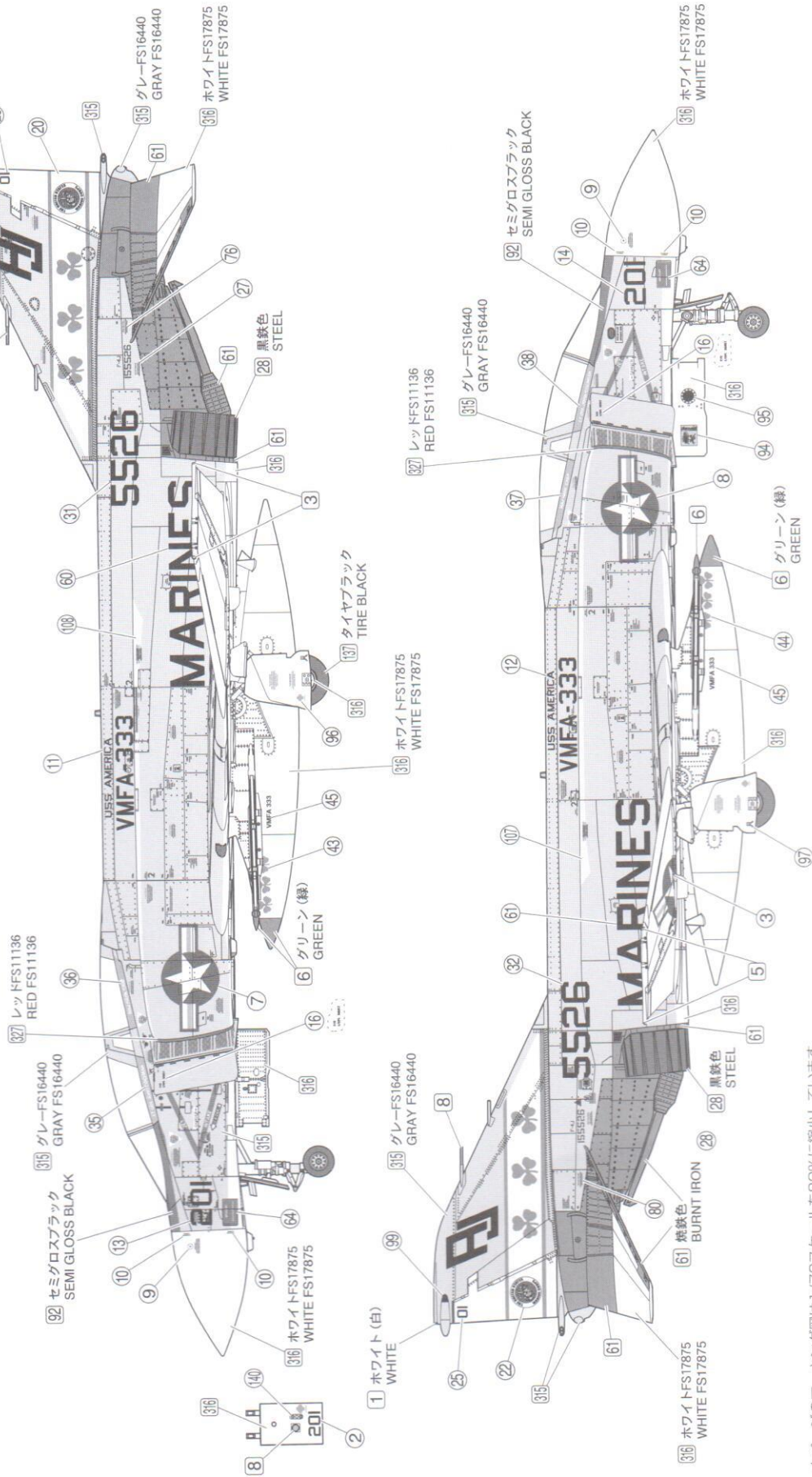
塗装とマーキング

Painting & Marking

■ 塗装例 1 : アメリカ海兵隊 VMFA-333 F-4J-33-MC/ag, BuNo.155526, Shamrock 201 空母アメリカ 1972年9月 11日
 Scheme 1 : Shamrock 201, F-4J-33-MC/ag BuNo.155526, VMFA-333, USS America, 11th Sept. 1972

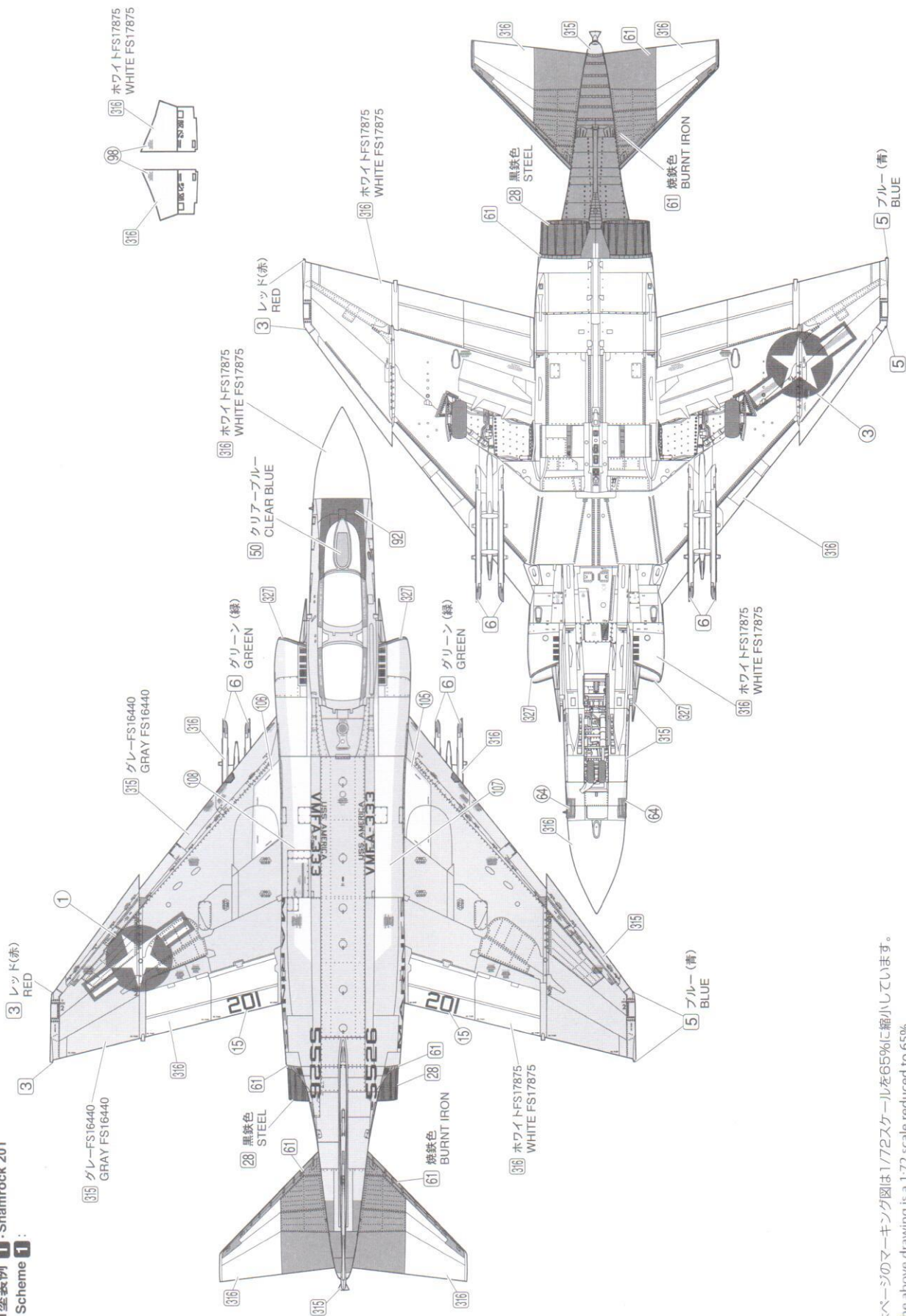
機体色 :

Body color : 35 グレーFS16440 GRAY FS16440 36 ホワイトFS17875 WHITE FS17875



本ページのマーキング図は1/72スケールを80%に縮小しています。
 The above drawing is a 1:72 scale reduced to 80%.

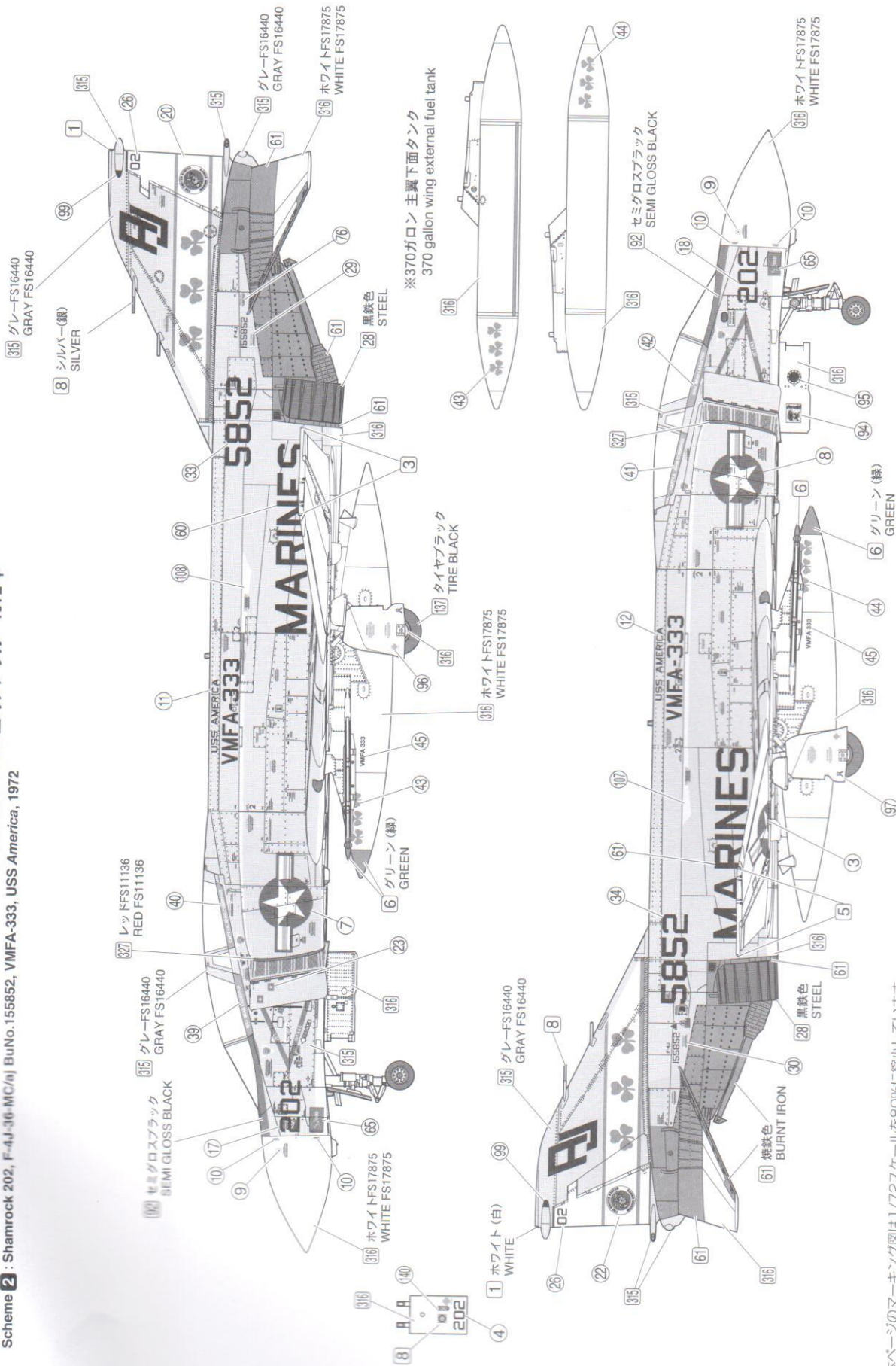
■ 塗装例 1 : Shamrock 201
Scheme 1 :



72843 アメリカ海兵隊 F-4J "マリーンズ" P20

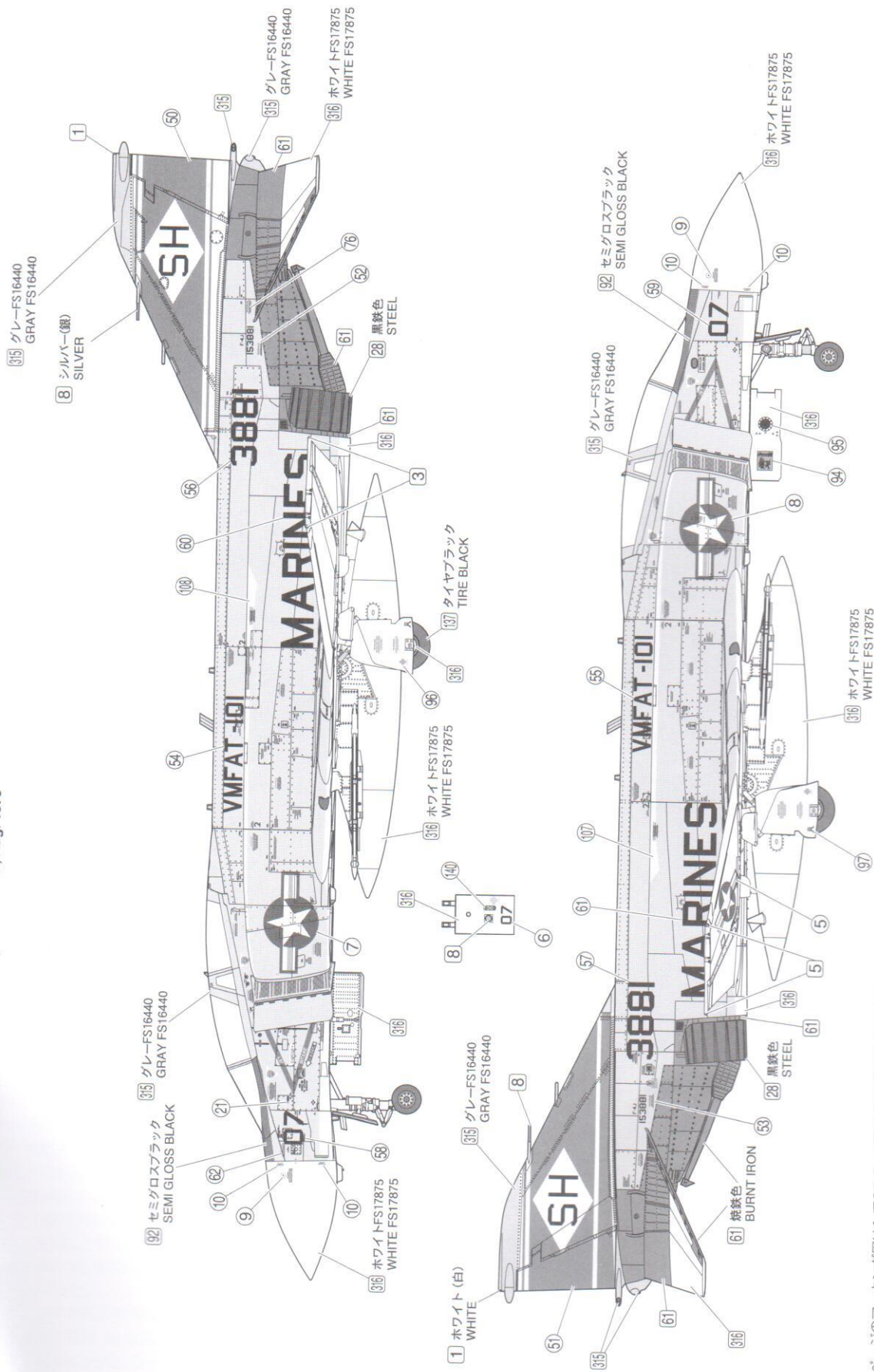
本ページのマーキング図は1/72スケールを65%に縮小しています。
The above drawing is a 1/72 scale reduced to 65%

■ 塗装例 2 : アメリカ海兵隊 VMFA-333 F-4J-36-MC/aj, BuNo.155852, Shamrock 202 空母アメリカ 1972年
 Scheme 2 : Shamrock 202, F-4J-36-MC/m) BuNo.155852, VMFA-333, USS America, 1972



本ページのマーキング図は1/72スケールを80%に縮小しています。
 The above drawing is a 1:72 scale reduced to 80%.

■ 塗装例 3: アメリカ海兵隊 VMFAT-101 F-4J-32 MC/af. BuNo.153881 SH-07 ユマ基地 1975年8月
 Scheme 3: F-4J-32-MC/af BuNo.153881, SH-07, VMFAT-101, MCAS.Yuma, Aug. 1975



72843 アメリカ海兵隊 F-4J "マリーンズ" P23

本ページのマーキング図は1/72スケールを80%に縮小しています。
 The above drawing is a 1/72 scale reduced to 80%.